

栃 木 県

栃 木 県 連 合 退 職 校 長 会

結成 昭和 40 年 5 月 23 日

1 現在までの歩み

昭和40年5月23日、栃木県内の退職校長有志約110名が集まり、栃木県退職校長会を設立した。同年6月に全国連合退職校長会（全連退）が設立され、本会は全連退組織に加盟した。その後、会の活動が広がるにつれて会員が増加し、地区活動の推進を図るために県内10地区に各地区退職校長会を組織し、昭和56年5月17日に栃木県退職校長会は連合体となり栃木県連合退職校長会（県連退）と改称し今日に至っている。

なお、コロナ禍の収束により延期していた関東甲信越地区退職校長会連絡協議会栃木大会を令和6年秋に実施することとなり、「人との繋がりを大切に活動が見える退職校長会を目指して」を主題として開催し、課題解決のための様々な取り組みや意見を頂戴した。

2 会員数・役員・組織

- (1) 会員数 2,224名（令和6年7月1日現在：但し会費免除会員を除く）
- (2) 役員 顧問2名 役員30名（会長1名、副会長6名、監事3名、常任理事10名、理事10名）事務局（事務局長1名 事務局次長4名）各部（総務部：部長他6名、厚生部：部長他6名、広報部：部長他6名）

3 活動の方針

- (1) 教育尊重の機運を醸成し、教育環境の改善・充実等、本県教育の振興に寄与する。
- (2) 会員相互の親睦・扶助を深めながら、生涯教育の充実と福利・厚生の増進を図る。
- (3) 地区退職校長会・全連退との一体化、関係機関・団体との連携を図りながら、組織の充実・強化に務める。

4 努力点

- (1) 学校支援活動の組織的取組の推進と、教育行政等との連携強化。
- (2) 生涯学習の場・機会の拡充と魅力ある福利・厚生事業の構築。
- (3) 財政健全化に向けた事務・事業の合理化と入会促進に係る啓発活動の充実
- (4) 調査・広報活動の改善充実

5 主な活動状況

- (1) 定例総会・講演会の実施
- (2) 会報の発行（年3回）
- (3) いきいき生涯学習研究協議会の実施
- (4) 研修懇親旅行の実施
- (5) 県教育委員会事務局との教育懇談会の実施
- (6) 退職間もない会員との懇談会の実施
- (7) 地区退職校長会との連絡・連携の強化
地区事務局長会議、会報編集協力委員会の実施



令和6年度定例総会